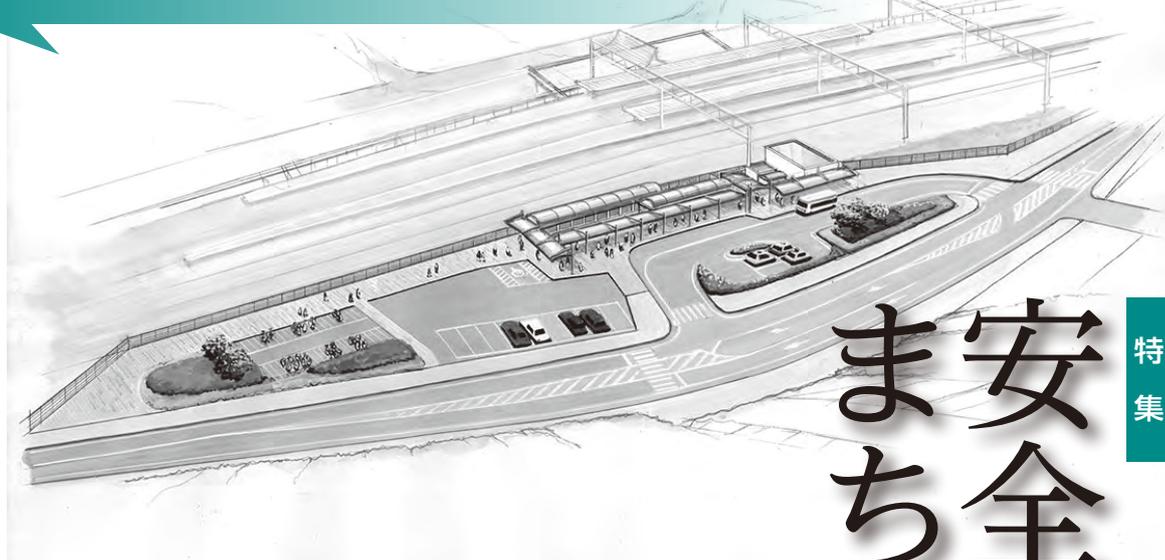


計画時のイメージ図



安全で住みやすいまちづくりの第一歩



地元の皆さんの協力を受けて進めてきた、海老津白谷線道路や駅の南側広場、自由通路の整備が間もなく完了。12月には完成式典を予定しています。今回は、整備事業のこれまでの経緯やJR海老津駅南側開発の今後の取り組みなどを紹介します。

問い合わせ 都市建設課へ

JR海老津駅南側開発の経緯

JR海老津駅南側開発は、平成15年に、駅周辺の4自治区から道路改良工事の早期実現などを求める陳情書が提出され、議会で採択されたことから始まりました。

これを受け、町は平成20年3月までに、開発の方針や具体的な取り組みをまとめた報告書を策定。JR海老津駅の南側を、自然との共生に気を配りながら、土地を有効に活用する地区に位置付けました。

その後、平成23年3月に策定した第5次総合計画では、この取り組みを重点プロジェクトに掲げました。また、駅を安全で便利に利用でき、周辺の住民が安心して暮らせる環境を整えるため、海老津白谷線道路などの整備を最優先して取り組むことになりました。

平成23年から工事に着手。国の補助金を最大限に活用しながら工事を進めてきました。これまでにかかった測量調査や設計の委託費、用地買収や家屋移転補償、工事費の合計は約24億円となっています。

工事前



工事後



▲▶ 道路は広くなり、緊急車両も通りやすくなります





10月時点の駅南側の様子

南側広場での送迎ができるようになり、北側広場周辺や白谷踏切の渋滞が解消されます



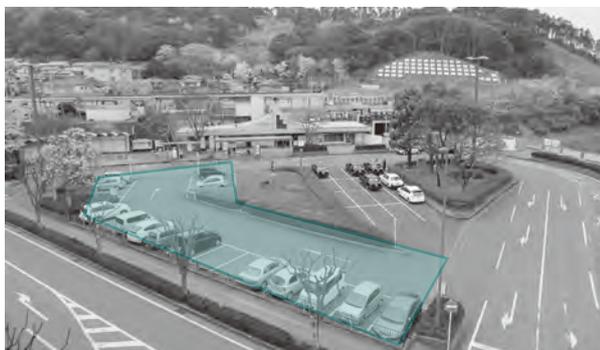
自由通路・エレベーターは 安全面を最優先に整備しました

自由通路は、壁や天井の仕上げなどを工夫し、通路内を明るくすることや防犯カメラ・非常ベルを設置することで、安全性を高めています。また、高齢者や自転車も安全に利用できるように、エレベーターや斜路付階段を設置しています。なお、自由通路の開通にあわせ、金比羅踏切は廃止されます。



▲廃止される金比羅踏切

今後も整備が続きます



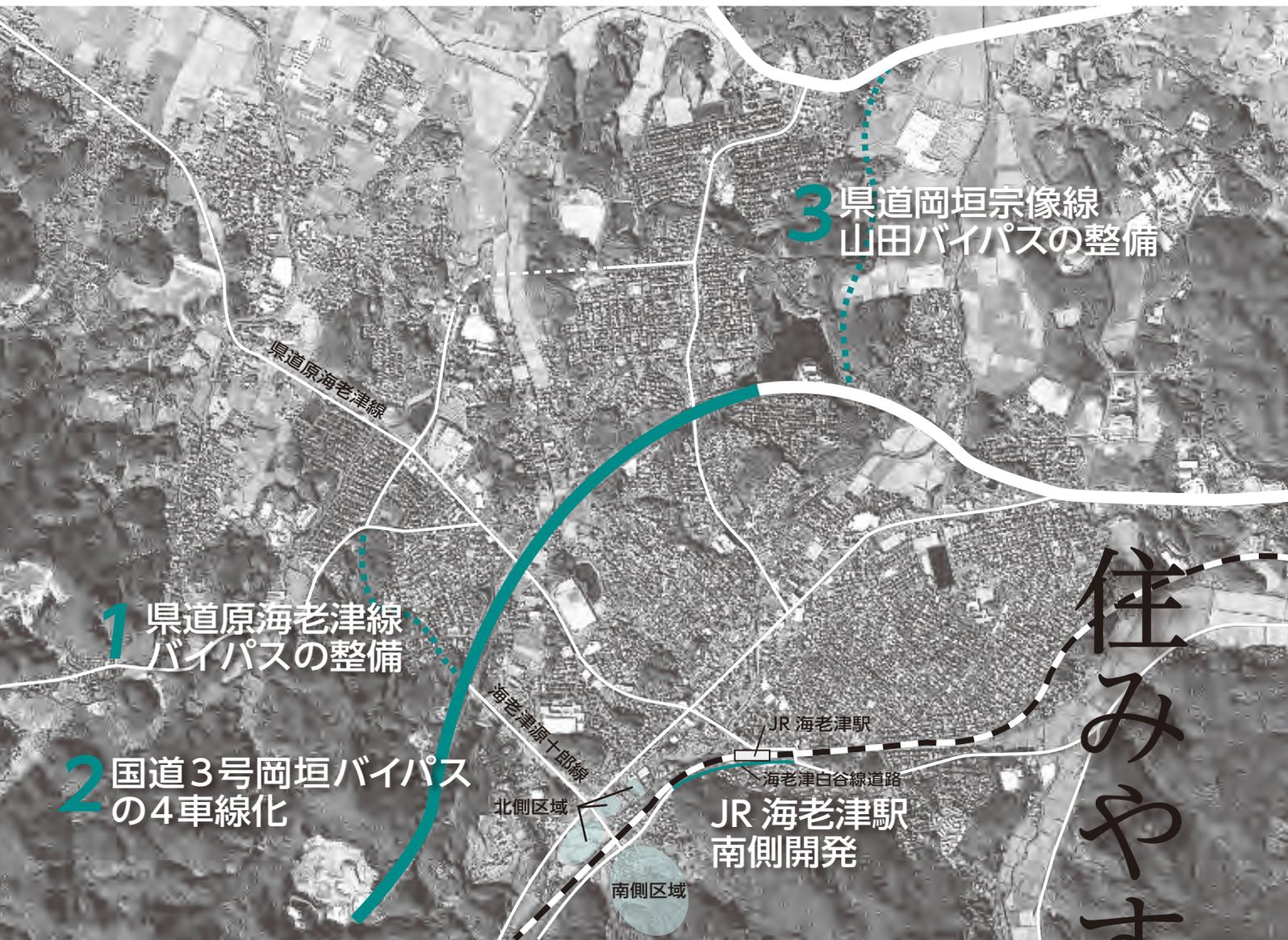
平成 28 年 12 月中旬から実施予定
北側・南側広場の駐車場を有料化

目的外の長時間駐車を減らすことで、駅を利用する人が利用しやすい環境を整えます。



平成 29 年 3 月に完成予定
北側広場に交番を移設

東松原区にある岡垣交番を移設することで、駅を安全に安心して利用できる環境を整えます。



住みやすさを求めて

海老津白谷線道路などが完成間近となり、JR海老津駅南側開発は、次の段階に向けて歩み始めました。今後は、町内の主な道路をつなぎ、駅南地区の開発を促します。

南側広場が便利に利用できる環境を

南側広場が完成し、海老津白谷線道路が開通すると、駅に南北からアクセスできるようになります。しかし、町の西部から南側広場へ向かう道路は十分整っていないのが現状です。皆さんに南側広場を便利に利用してもらうためにも、町内の道路を結ぶことが必要です。

スムーズに移動できる道路の整備を

町内を通る2本の国道を最短距離で結ぶことや国道3号岡垣バイパスの4車線化も、JR海老津駅南側開発を進めるためには欠かせません。新たな企業を誘致する基礎をつくるためにも、大型車両がスムーズに移動できる道路の整備は必要です。

町は、周辺市町と協力しな

がら、県や国と協議を進めて来ました。この結果、これらの道路の整備も実現に向けて動き始めています。

いくつかの区域に分けて開発を進めます

これらの道路の整備にあわせ、JR海老津駅南側開発も、より具体的な取り組みを進めていきます。

まず、JR鹿児島本線の北側区域の開発を進めます。民間事業者から開発の企画を公募しました。現在、民間事業者による戸建住宅エリアの開発許可に向け、協議が進められています。

次に、鹿児島本線南側区域の一部で開発の準備を行います。今年度中に、地権者に開発事業への意向を確認するアンケート調査を行う予定です。今後も、JR海老津駅南側地区の開発を促すための取り組みを進めていきます。



今後整備が進む 町内の主要道路

地域を結ぶ道路をより便利にし、JR海老津駅南側開発を進めるため、県や周辺市町の協力を受け、道路の整備が進んでいます。

1 県道原海老津線 バイパスの整備

海老津源十郎線は、町の都市計画道路網の中で、未整備区間として残っていました。協議の結果、県が国道3号岡垣バイパスと公園通りを結ぶ区間を整備することが決定し、事業が進められています。

2 国道3号岡垣バイパス の4車線化

地域住民にとって重要な生活道路である国道3号。北九州市～福岡市の間で、唯一の2車線区間が岡垣バイパスです。この区間を4車線化するため、8月に宗像市・福津市・水巻町・遠賀町と共同で期成会を結成。今後は、2市3町で連携して、実現に向けた準備を進めます。

3 県道岡垣宗像線 山田バイパスの整備

国道3号岡垣バイパスと国道495号を最短距離で結ぶ道路を整備する事業が、県によって進められています。この事業は、北九州若松方面と福岡市方面の物流を効率よくスムーズにすることを目的としています。

安全な道路環境を整備し、
地域間で調和のとれた開発を

平成23年から取り組んできた海老津白谷線道路の改良工事や南側広場、自由通路などの整備が間もなく完成を迎えます。工事を進めるため、上海老津区にあった16軒の家屋に住んでいた皆さんには、住まいを移転してもらおうという大きなご協力をいただき、とても感謝しています。

とを受け、現在駅南側開発の具体的な取り組みが始めています。今後、主要な道路を結ぶ計画や国道3号岡垣バイパスの4車線化の整備を促し、駅南側地域の立地条件を向上させることで、質の高い宅地の開発や企業の誘致につなげたいと考えています。

工事が完成することで、駅周辺に住む皆さんが、長年待ち続けてきた安全で安心して暮らせる環境が整います。また、町民の皆さんが、駅や周辺道路を安全で便利に利用できるようになります。

JR海老津駅南側開発の条件整備のため、最優先に取り組んできた事業が完成するこ

将来にわたり、現在の住民サービスを維持していくため



岡垣町長 宮内實生